

---

# 舞能事務所－エンターテイメント－

空井美保

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

舞能事務所ーエンターテイメントー

### 【Nコード】

N3732Y

### 【作者名】

空井美保

### 【あらすじ】

舞能事務所という芸能事務所に所属するタレントたちの物語です。恋があったり、騒動があったり、コンサートがあったりとまるで現実を見ているみたいな気持ちになります。

そしてこの、小説が完結する間にどんなグループが誕生するのかそんなところも楽しみにしてみてくださいと思います。詳しく曲名など歌詞など見たい場合は

舞能事務所ーエンターテイメントー と検索してください。

小説に出てきた歌詞、フル載ってます！

すべて空井美保書いています！

## B E R R Y S

1982年

芸能事務所誕生！

今や有名芸能人が多く所属する

有名事務所となった。

その名は

「芸能事務所」

舞能事務所専用コンサート会場まである

有名な事務所である。

一時期はモデルの未成年タバコ、未成年飲酒

恋愛報道、二股報道など

いろんな問題が起こった。

事務所倒産の危機などのニュースも出たが

今もこの事務所は残っている。

今はモデルの職業をやっている人は

所属禁止、前の問題があったから

厳しくなっている。

現在の有名なグループは

L o v e i s 4というバンドグループや

G i r l プロジェクト、B O Y S プロジェクトによって出来た

いろんなグループなど

若い年齢のアイドルが人気急上昇中なのだ。

G i r l プロジェクトで有名なのはN E W R A N D O

G i r l プロジェクトで一番最初に結成したグループ

年齢は全員23歳以下というメンバー。

BOYSプロジェクトではLovePopflower、  
また、最近デビューしたばかりのBERRYYSなど  
BOYSプロジェクトでデビューした人は  
全員イケメンを取りえている。

現在2010年。  
舞能事務所は今も進化をしている。

今日はBERRYYSのデビューシングルを発表会見の日。  
BERRYYSは4人のメンバー

坂倉 共也 21歳 リーダー

北野 功 20歳

川村 柊太 18歳

桜田 侑大 19歳

イメージは可愛い系男子。  
全員がキャラに特徴がある。

それでは物語スタート!!  
セリフばかりですがみてください。

侑大「こういう衣装ってさ照れない?」

柊太「まあね・・・」

侑大「テンション低いよー?」

今日の衣装はとても派手、  
ピンクと黄色の柄がところどころに  
入っている上下。  
全体的に銀色で  
上はコートのように長い。

功「はあゝあと15分でスタートだよお・・・」  
侑大「僕はね・・・正直言うと緊張はしてない。」  
柊太「えー？」

共也「歌も歌うらしいから、喉潤さないとなっ」

いつになくマイペースなリーダー共也。

そしてテンションが人一倍高い侑大。

緊張気味でおとなしい柊太。

もうすぐ始まるというプレッシャーに負けて  
涙目になっている功。

そんな4人のデビュー曲名は  
ミライ レッツゴー。

今日はインタビュー&歌披露を  
報道陣の前で披露する。

そして開始1分前  
ステージの入り口の隙間から  
侑大が覗くと

報道陣はカメラを持って  
隙なくとるといような表情で  
入り口の方を眺めていた。

そして1分は経ち

BERRYYS「こんにちはBERRYYSです。」

報道陣「今日の気分をお聞かせください！」

共也「初めてこうやってステージに立てたので緊張や嬉しさが溢れだしていますね。」

報道陣「デビュー曲について感想を」

侑大「この曲は元気ソング？うん、元気が出る歌詞になっているので是非元気になってほしいです。」

報道陣「キャラなんかありますか？」

柊太「全員言っちゃうと時間なくなるのでいえませんが侑大が一番可愛い系です。」

報道陣「本当ですか？侑大さん。」

侑大「……はい？あつすみません。」

共也「天然でもありますねー」

侑大「僕だけ自分のこと僕っていうんですよ……あとは小さい時休みの日にスカートを……」

報道陣「何歳の時ですか？」

侑大「そうですね……はつきり覚えていないですけど2、3歳くらいですかね……」

功「侑ちゃんが産まれるまでずっと女の子って言われていたらしくて」

侑大「そうなんですよー」

会場は楽しい雰囲気にもまれていた。

その後曲を披露して

会見は無事終わった。

次の日

社長に呼ばれて

BERRY Sは舞能事務所へ行った。

そこで初めて会ったのは

Loveis4。

美亜「初めまして、Loveis4の美亜です。」

侑大「初めまして！侑大です！」

美亜「はい！ヨロシクお願いします。」

功「テレビで見えてました！！ドラマとか演技上手くてあこがれます  
！」

美亜「あっありがとうございます。」

羽瑠「美亜？撮影呼ばれたよ？」

美亜「あっはい！！では今度ゲストとかでね。」

羽瑠「お題を力を合わせて答えまSHOWアイドル崖っぷちバトル  
Poweris4来て下さい。」

共也「本当ですか？」

海「スケジュールが開いたなら連絡すればいつでもゲストで来てく  
れ。」

侑大「はっはい。。。」

相変わらず海は後輩には厳しく対応。

侑大は少しビビッていた。

それをみた美亜は・・・

美亜「侑大くんごめんね、海さんは先輩として厳しいだけだから、  
ね？」

海「なんで俺が・・・」

侑大「僕も立派な先輩になれるようにがんばります！では失礼しま  
す。」

美亜「じゃあ、またね！」

BERRYYS にとっての憧れの人は  
LOVE POP FLOWER。

人気俳優がメンバーという  
華のあるグループ。

中心メンバーは可愛沙羅。

女の子のようなキュートな笑顔と

キレイのいいダンスをするカッコイイ表情の  
ギャップを持った男。

なんとまだ20歳。

雑誌記者「対談して欲しいのですが、2対2に分かれてもらえますか？」

次の日

アイドル雑誌

「Rainbow formal」

新しく連載コーナーも始まり

BERRYYSのグラビアページも始まる。

この日は連載コーナーの対談コーナーの撮影も含んで3時間の仕事。  
雑誌だと思っただけご覧ください。

デビュー仕立てのキュートなアイドルグループ

BERRYYS対談コーナー

今月から新たに連載スタート!!

連載コーナー名は

「BERRYYSノからふるとーく」

今回のテーマは デビュー について

4人メンバーなので2対2に分かれてもらいました

共也&功の自称大人チームと柗太&侑大のお子ちゃまチームでレックツトーク

共也&功

共也「いきなり話し濃くなるけどさ、デビューって知らされたときはどんな感じだった？」

功「う〜ん・・・」。「しばらく沈黙」

共也「いきなり静かになるなよ！」

共也「俺はちなみにデビューって知らされたとき家の中歩き回った、勝手に足が動くってどうか？」

功「俺は両親に教えたよ、やっぱり親に教えないとだめだよ!!」

共也「そうかな〜？」

功「もう20歳超えてるからさ、大人トーク的なのしてみたくない??？」

共也「じゃあ大人になって変わったこと」

功「俺は小さい頃ね朝起きれなかったけど、今は目覚ましなる前に起きちゃうんだ〜」

共也「おじいちゃんかつつの・・・。まあ確かに今は起きれるけどさ・・・」

功「俺ねコーヒー大好きなんだよね〜。子供のときこっそり飲んだら夜寝れなくなった。」

共也「馬鹿じゃないの?」

功「後は俺楽器に挑戦中ですかね・・・。バンドとかやってみたいのも願望であるしなー」

共也「何やってるの?」

功「ピアノ、憧れのピアノですよ、どうですか?」

共也「功がピアノで俺がギターで侑大がボーカルで柗太もギターと

か？」

功「いいね」

功「これからについて??」「記者から最後の質問」

共也「先輩でもあり、憧れでもある、LOVEPOPflowerさんのようになりたいかな」

功「俺は誰にでも顔を知ってもらえるようになりたいな」

共也「先輩らしく、次デビューするグループを優しく歓迎してあげたいな」

そして侑大&柊太

侑大「イエイ!!」

柊太「なんかテンションあがるよね!!」

侑大「さつきね、雑誌の取材の人から聞いたけど共ちゃんと功ちゃん静かな対談だったさ」

柊太「だったら俺たちは明るく行かないとね」

侑大「えつとまずは・・・?デビューしたことについてか」

柊太「びっくりして言葉でなかったね!意味不明な行動したりとか」

侑大「僕はね、がんばって痩せた!まあ19歳で58あったけど今は52キロかな?」

柊太「うらやましい!!俺なんか2キロしか減らなかった、そして現在56キロ」

侑大「まあそんな感じですね。」

柊太「俺さ最年少じゃん?だけどさ、侑が一番子供っぽいよね」

侑大「高校に行ってた時に童顔くんって呼ばれてたときあったな・・・」

侑大「決して嫌なわけじゃないけど、大人になるわけだし20歳までには大人っぽさも欲しい!」

柘太「俺ってどっちかっていうと20歳超えてるでしょって言われるんだけど・・・」

侑大「なんかワイルドだよね・・・」

侑大「僕はこのまま可愛いさをとりえて行きますよ　そしてセクシ―さとかもね？」

そして3時間はあっという間に終わった。

そのあとに

新たなるデビューグループが出来たと言う事で  
テレビはそのニュースで話題になっていた。

## B E R R Y S (後書き)

舞能事務所という芸能事務所に所属するタレントたちの物語です。恋があつたり、騒動があつたり、コンサートがあつたりとまるで現実を見ているみたいな気持ちになります。

そしてこの、小説が完結する間にどんなグループが誕生するのかそんなところも楽しみにしてみてくださいたらいいと思います。詳しく曲名など歌詞など見たい場合は

舞能事務所ーエンターテイメントー と検索してください。

## 新たなデビュー、歓迎パーティー！

次の日

舞能事務所に所属するタレントら全員に

デビューするグループの繊細が書いてある

パンフレットのような紙が配られた。

美亜「すごいねBOYSプロジェクトもどんどんデビューグループ  
増えてる・・・」

羽瑠「俺たちも負けていられないって感じ？」

海「まあプロジェクトだからな・・・一般からデビューだぞ？」

圭斗「でもプロジェクトって言っても有名な人いっぱいいるしね・・・」

羽瑠「海はともかく負けないようにこれまで以上がんばろう！」

美亜「はい！」

グループ名は

M i s s - K - A - Y

読み方はミスケーエーワイ。

K - A - Yの意味、Kは希望、Aは愛、Yは優しさ  
メンバーには

可愛い系とワイルド系といわれるメンバーに分かれているらしい。  
そうすることでファンの数も増えるということ。

沙羅「見た??このパンフレットみたいなの・・・」

太陽「うん！俺たちが憧れだなんて嬉しいね！」

集人「パーティー会開くって後ろの方に書いてけど行くよね？」

佳健「行くでしょー！やっぱ先輩としてさ。」

沙羅「そうだね。今日の7時からか・・・」

太陽「舞能事務所の若手だけでやるらしいからしっかりしないと！」

舞能事務所専用コンサート場には  
ちゃんとパーティー用の部屋もある。

一面赤いじゅうたんでとても豪華な部屋である。

そこで今日はMiss・K・A・Yのデビューパーティー。  
時間は7時から。

そしてグループメンバーについて。

水沢 勇羽 15歳

和井 信次 15歳

心木 結人 15歳

スライ 14歳。

スライシスリーアークで

イギリスの方からやってきたハーフの子。

産まれた時はイギリスだったが

2歳の頃からずっと日本にいた。

ただ言葉は片言。

リーダーは決まっていない。

勇羽「はあ・・・」

信次「俺たちのデビューの仕方って変わってるね」

結人「だってさ一般にも昨日発表したばかりだよ？」

スライ「なんかネ・・・ドキドキする。」

信次「言葉しつかり考えて話してね！スライ。」

スライ「はい！」

なぜこんなに緊張しているのかというと

今日の8時から

先輩の前でデビュー曲を披露するのだ。

デビュー曲の題名は

Days (デイズ)。

そして4時

二コーズ番組のコーナーに

出演する事になった勇羽とスライ。

なんとそれもスタジオ生出演！

山崎アナ「今日はデビューしたてのMiss-K-A-Yに来てもらいました！」

スライ&勇羽「初めまして。Miss-K-A-Yの

スライ「スライと」

勇羽「勇羽です。よろしくおねがいます。」

山崎アナ「とつてもイケメンじゃないですか」

若谷アナ「皆さんは何歳ですか？」

勇羽「15歳が3人いてスライが14歳です。」

スライ「はい。」

若谷アナ「どうでしたか？デビューした感想は？」

スライ「僕・・・ハ、僕は・・・まだ緊張していて・・・しています。」

山崎アナ「スライさんはイギリスと日本のハーフだそうです。」

若谷アナ「じゃあ英語とかもペラペラですね？」

スライ「はい！」

そして10分ほど出演した後

コンサート会場に向かった。

現在6時43分。

今回は大きいパーティーではなく  
Girlプロジェクト、BOYSプロジェクト、Loveis4の  
人だけが参加できる。  
だから少し緊張も軽いだらう。

スライ「歌詞間違えそう・・・」

結人「大丈夫！スライはちゃんとできるって。」

信次「まあ最初はパーティーだから」

勇羽「そうだよ、それにLoveis4の人は優しいから」

そして7時になり

パーティーがスタートした。

朱莉「デビューおめでとうございます！こんどRANDOの甘い部  
屋にも遊びに来てください！」

RANDOの甘い部屋とはラジオ。

Girlプロジェクトでデビューしたメンバーのうち

2人が日替わりで進行係を務め

舞能事務所所属のグループをゲストに迎えたりして  
いろんなトークをしたりするラジオのこと。

勇羽「ありがとうございます。是非呼んでください。」

美羽「堅くならないでね！全然わたしたち上下関係いらなから」

冷美「そうだよ、ため口でいいから」

スライ「ありがとうございます。」

そしていよいよ曲披露の時間になり・・・

勇羽「お集まり頂き今日はありがとうございます！」  
スライ「トテモ楽しい時間であツト二時間ガ過ぎました。  
信次「これから立派なグループに成長して行きたいと思えます！」  
結人「聞いてください！Days」  
信次「今日はスペシャル編集したバージョンで歌います！」

あの未来の影で  
僕ら何してるのかな  
一本の道を歩いてる  
夢を人に分けては  
心傷つけられて  
泣いてた  
目を赤くしてまで

時には嫌だと  
言わないといけないんだ

先週の幸運の巡る  
月がきれいな星空  
思い出溢れる  
日々でありたい

Days You  
Days You  
Days You . . . . .

時にはさびしいと  
甘えなきゃだめだ



**新たなデビュー、歓迎パーティー！（後書き）**

歌詞はもうフル載せています。くわしくは舞能事務所―エンターテイメント―で検索。

このお話に登場する名前、建物名などは全てフィクションです。

また実在する人物とは一切関係ありません。

Girlプロジェクトでデビューしたメンバーを詳しく知りたいか  
たも

検索してくれると見れます！

## Loveis4のすゝさ Poweris4!!

Loveis4は舞能事務所の顔でもある。

デビューした当時は顔も知られていなかった。

唯一知られていたのが

美亜と海。

お互い学校は一緒だったので仲はよかったが

美亜は今まで事務所が違ったため

番組で1回ぐらいしか共演していなかったのだ。

ただ社長が無理やり美亜を舞能事務所にスカウトし

いきなりLoveis4でデビューした。

1回いきなりメンバーチェンジをして

メンバーが何人か入れ替わった。

その中で変わらなかったメンバーは羽瑠

優しい性格だがギターは力強い。

そして2期生として圭斗。

バンド形式だとドラム担当だが

最近のCDはバンド形式ではない。

Loveis4は合宿所で過ごしていた。

今はデビューして人気になったため

自由になった。

美亜「こんにちは・・・・・・・・・・?？」

今日は新しいCDのレコーディング。

実は今回ソロ曲が2曲カップリングで入っている。

アシスタント「美亜さんはそちらにお座りになって、こちら歌詞カードです。」

美亜「ありがとうございます。」

レコーディング担当「では伴奏から行きますよ！スタート。」

恋に決まりなんてない

どんな片思いでも

どんな両思いでも

思いが届いてれば

それは恋だから

いつか感じられるように

いつかそばにいられるように

美亜「ありがとうございます。」

監督「最高の歌だったよ。こちらこそありがとうございます。」

美亜「はい！！」

今日のスケジュールは本当に忙しい。

このレコーディングの後は

CM製作発表。

そのあと雑誌のインタビューを受けて

もう一つの雑誌のインタビュー&撮影。

そしてLoveis4のレギュラー番組

Poweris4の収録。

ほとんどの日がこのように

帰ってくるのは2時や3時。

海「羽瑠、Poweris4のコーナーの司会お前になったから。」

羽瑠「知ってるよ、もう台本みたいなのもらってるから。」

圭斗「あと・・・今回は4人で出演だから・・・」

羽瑠「どうしたの？」

圭斗「いいえ・・・収録って緊張するから・・・」

羽瑠「まあね、誰でも緊張はするし大丈夫だよ。」

Loveis4のイメージカラーは

ブラックホワイト。

カッコイイところもあるけど

番組なので見せる天然さやキュートなところも

あることからイメージはブラックホワイトになった。

雑誌関係の仕事は終わり

Poweris4の収録の時間。

美亜&羽瑠「Poweris4~~~~!!」

羽瑠「今日はなんとスペシャルで1時間！」

美亜「しかもLoveis4メンバー全員います！」

羽瑠「しかもNEWRANDOとMoonRANDOチームと3つのチームで戦います。」

今回はスペシャルということと30分のところ1時間スペシャル。

そしていつもは2つのチームで戦うが、NEWRANDOチームとMoonRANDOチーム、Loveis4チームの3つで戦うことになった。

美亜「負けたチームには苦いお茶が待っているのがんばってくださいー！」

海「最初のコーナーは！外出ゲーム！ジェスチャーで気付けー！」

美亜「このゲームはそれぞれのチームの代表者1人が出て戦います。」

「羽瑠「外に行ってもらい、そこでジェスチャーをしてもらいます。」  
美亜「お題カードには全部で5つのお題があります。」  
羽瑠「このお題カードはくじで引いてもらいます。」  
美亜「恥ずかしいお題もはいつている場合もあるので覚悟してください。」

くじを引くと

Loveis4チーム

- ・野球をやっているアヒル
- ・木琴を叩くゴリラ
- ・腹の出ているより目の人
- ・酔っ払い
- ・オリジナル

といいのを引いたようだ。

NEWRANDOチームは

- ・天使
- ・泣いている花
- ・パソコンをやっているサラリーマン
- ・赤ちゃん
- ・HoneyRANDO

と少し難しいお題。

そして一番最年少チームMoonRANDOは

- ・キスをする不細工な人
- ・歌を歌うけど音痴
- ・オリジナル×3

と運はいいようだ。

そして番組終わり・・

美亜「結果はNEW RANDOチームの勝利!!」

羽瑠「最下位だったMON RANDOには苦いお茶を」

そしてお茶を飲み終えると

陽輝「超苦いです・・・・・・」

羽瑠「まあ最年少チームなんでかわいそうじゃないですかー」

美亜「海さんと圭斗さんは苦いお茶を飲んでください!!」

海「えー？ずるくない？」

美亜「ずべこべ言わないでさっさと飲んじゃってください。」

圭斗「につが!~~~~」

こんな感じでいつも

みんなを笑わせているLoveis4。

今度のCDはいつたいどんな感じなのか・・・。

次の日

Loveis4の出演する番組の収録の日。

楽屋に誰かがやってきた。

美亜「どうぞ〜?」

侑大「こんにちは〜」

共也「こんにちは」

柘太「どうも〜」

功「お久しぶりです。」

美亜「BERRY S・・・どうしてここに?」

侑大「このスタジオの隣で番組の収録してたのでお邪魔しました。」

美亜「そうだったんだ〜」

柘太「なんか美亜さんってプライベートもステキな感じじゃないですか」

美亜「それっておせじなの?」

功「違うよね?本当にオーラがあってステキです。」

美亜「ありがとう!」

共也「あの・・・俺たちのBOYSプロジェクトとGirlプロジェクトの建物が建つんです。」

美亜「え?」

柘太「ダンスレッスン、ボイスレッスン、トークレッスン、撮影レッスンが出来るんです。」

功「もつと社長が、有名なグループになるためには教育も必要だつて・・・」

侑大「だから僕たち、もう少ししたらそこに毎日通うんです。」

舞能プロジェクト教育所

Girlプロジェクト、そしてBOYSプロジェクトの中に入っている人が

もつと芸能界に活躍出来るように教育する学校のようなもの。

ダンス、ボイス、トーク、撮影、演技、楽器演奏などが習える。

美亜「わたしたちもそう言う事あったな」

功「え？」

美亜「わたしたちはね合宿所に通ってたの。毎日男だけしかいないの」

侑大「それっているいろと大変じゃないですか？」

美亜「海さんとかは優しかったから・・・大丈夫。そういうことは」

柊太「そうなんですか・・・」

共也「これからもヨロシクお願いします。では失礼します。」

次の日

舞能プロジェクト教育所オープン。

Loveis4のすしざ Poweris4!! (後書き)

歌詞フル完成しています。

もう載せているので

舞能事務所ーエンターテイメントー

デ検索してください。

美亜ソロ曲、海ソロ曲はあと何日かで

完成しますお待ちください。

## 舞能プロジェクト教育所

朱莉「この教育所のリーダーになりました。北岡朱莉です。よろしくおねがいします。」  
全員拍手

朱莉「GirlプロジェクトBOYSプロジェクトでデビューしたメンバー全員一緒に過ごします」

さすがに男女一緒に過ごすことは無理。  
ということだ

Girl生活室とBOYS生活室に分かれての練習。

寮生活のようなものはやらないが  
寝泊り用の部屋も用意されていて  
一日練習する人は  
そこで寝ることが出来る。

朱莉「えつとNEW RANDOがリーダーチームですがBOYSの方は・・・」

侑大「僕になりました！Love Pop Flowerのグループは生活系のリーダーです。」

朱莉「じゃあまとめたリーダーは侑大くん？」  
侑大「はい。」

朱莉「じゃあMoon RANDOはダンスレッスン。」  
Moon RANDO「はい！」

朱莉「それ以外のJrの子達はMoonRANDOリーダーでダンスしてください。」

侑大「僕たちは自由に練習してください！」

美羽「朱莉！ごめん・収録あるんだ。抜けるね〜」

朱莉「OK！」

可愛「僕らも仕事あるんだ侑大たのむね」

侑大「はい！分かりました。」

そこに

Loveis4が駆けつけた。

羽瑠「すごく大きい建物だね。」

美亜「わたしたちもこういうところがよかった。」

海「合宿所なんて過ごしづらいだろ。」

圭斗「そうだね〜」

実はこの教育所の管理人の人は

舞能社長の弟さん

舞能 俊秀さん 43歳

数々の有名アイドルを育ててきた  
有名な方。

俊秀「NEWRANDOとはあなたたちが、美人なメンバーだね」

朱莉「・・ありがとうございます・・。」

俊秀「よしダンス始めようか。」

朱莉「はい!」

そんな中  
BERRYSは  
仕事が忙しく  
教育所を後回しに  
して出かけていった。

BOYSプロジェクトの中でも  
一番忙しいといわれているのが  
BERRYS。  
爽やかな顔立ちと  
童顔メンバーが多いことから  
若い女性に人気。  
最近はお屋敷さんなどに  
ブロマイドまで  
販売しているほど。

侑大「ブロマイドってさ何円？」  
功「僕らの500円。あのアイドルは240円。」  
柊太「僕らの事務所は有名な事務所だから高いんだよ。」  
共也「だけど完売間近らしいよ??」

彼たちもブロマイドの話をしていた。  
今向かっているのは  
スタジオ。

雑誌 BUNO という  
舞能事務所の雑誌の撮影。  
あまり若手アイドルが  
載ることはめったにない。

侑大「宜しくお願いします！」

功「お願いしま〜す！」

共也「早速撮影ですか？「カメラに向かつて」

柘太「これってメイキングカメラ入ってた？」

スタッフ「メイキングないです。」

共也「うそー」

侑大「知らなかったの？雑誌の撮影だしないよ」

柘太「侑大声ガラガラじゃない？」

功「本当だ、どうした？」

侑大「コンサートの練習やってるじゃん。」

功「うん」

侑大「大きい声出しすぎた・・・」

美亜「こんにちは〜お邪魔します」

BERRYYS「!!!？」

この日

実はLoveis4の番組

Poweris4の収録日。

今回はドッキリ企画、

「BERRYYSの雑誌撮影の合間におじやまするぞ！スペシャル」

いきなりメンバーが

お邪魔するのが

このコーナーの決まり！

美亜と羽瑠がスタジオに入ってきた。

衣装は

美亜は真っ赤なズボンと真っ白のスーツ。  
羽瑠は真っ青なズボンと真っ白のスーツ。

美亜「どうしましたか??？」

功「びつくりしたあゝ……………」

侑大「……………っえゝ??？」

柊太「どうして…………？」

みんなどうしてきたのか分からないようなので  
事情を話す。

10分後

美亜「どうもLoveis4の美亜と」

羽瑠「羽瑠です。どうも」

2人「ドッキリ大成功!!」

侑大「ドッキリですか??？」

柊太「まじっすか??？」

美亜「今日はPoweris4出勤してきました!!」

羽瑠「ドッキリというか侵入ですかね」

功「びつくりしました……。大先輩がいきなりいらっしやっただの  
で……」

共也「本当ですよー。びつくりです。」

美亜「最後は全員で!!」

全員「ドッキリ大成功!!」

ドッキリというか

侵入調査のような収録だった。

そのスタジオには

有名な写真家の人や

メイクさんがいたりと

にぎわっていた。

メイク1「そういえばC r a z y B O Y Sってデビューするんですね」

メイク2「そうなんですか??デビュー噂されていましたよね」

メイク1「5人組で、10歳から17歳までいるらしいです。」

メイク2「大人っぽさが重要らしいですよ??」

## 新しい魅力！M i s t E v e r y デビュー

実はメイクさんの言っていた  
噂は少し違う。

デビューというのと大人っぽさが  
重要なことは確かだけど

C r a z y B O Y S という名前ではない。  
本当のグループ名は  
M i s t E v e r y ミストエブリイ。

5人組で

上沢 大翔 16歳 うえさわ だいと

平本 蓮 17歳 ひらもと れん

矢原 瑞生 14歳 やはら みずと

中水 歩 12歳 なかみ あゆむ

畑谷 優 10歳 はたや ゆう

リーダーは決まっていらないが  
最年長の蓮が仕切ったりしている。  
また、今回のデビューシングルの  
ジャケットやPVでセンターをやった  
大翔との噂もある。

最年少の優は小さい頃子役をやっていた。

そして大翔は舞能事務所に所属前は  
有名な事務所に所属していた。

お披露目会見の一部の様子・

5人「こんにちは！M i s t E v e r yです。」

と始まり

記者からの質問で

「今後はどうしたいですか？」

蓮「B E R R Y Sさんを尊敬というか、あこがれているので」

蓮「B E R R Y Sさんのように有名になりたいなと思います。」

大翔「僕たちは大人っぽい表情とかに気をつけていて」

大翔「今回のデビュー曲も少しゆっくりなしっとりした曲です。」

全員「ありがとうございました。」

会見の後

ファンサービスとして

駆けつけたファンに一人ひとり

挨拶し帰るのを見送った。

その後マネージャーが言った。

「この後B E R R Y S見えるから、このまま残りますか？もうオフ  
ですけど・・・。」

みんなの憧れB E R R Y Sが見えるという。  
当然みんなは

全員「はい！」

そして2時間後・・・

BERRY S「宜しくお願ひします!!」

このテレビ局で番組の収録だと

マネージャーは言った。

Mist Everyが目に入った

侑大はというと

侑大「Mist Everyだ!」

とって手を振った。

手を振ったのにびっくりして

何も出来ずにただただBERRY Sを

見ていた5人。

大翔「始めまして、Mist Everyです。」

侑大「デビューおめでとうだねっ おめでとう!!」

共也「憧れとか言ってくれて俺たち喜んでたんだよ!」

BERRY S、移動で車に乗っているとき

テレビ電話で会見を見ていたようだ。

蓮「見てくれてたんですか??」

柊太「歌も上手かったしすごくよかった。」

侑大「優くんがんばったね小学5年生なのに・・・」

優「侑大くん憧れなんです!今日あえて嬉しいです。」

歩「功くんが憧れです!本当にBERRY Sさん最高です!」

瑞生「すみません・・・時間もう無いですよね・・・」

まだまだ話したいことはあるが  
BERRYYSの収録時間も迫る。

功「瑞生またな！」

侑大「明日一緒に雑誌撮影しようね!!」

その後

車で移動の時

感情高まって5人はシーンとなっていた。

次の日

侑大が言っていた

雑誌の撮影日。

髪型も衣装もバッチリの

5人がスタジオに入った。

そうすると

スタジオには

紫色のバツクに

花がたくさんついていた。

今回のテーマを監督さんに聞いてみると

今回は花＝華のある男子。

BERRYYSとMistEveryの特別コラボ。

BERRYYSはポップで可愛い

ピンク系の花。

そしてMistEveryは大人っぽく  
赤や紫、そして造花だが  
青いバラなど上品な花。

まずはじめは雑誌撮影にも  
だいぶ慣れてきたBERRYSから。

カメラマン「BERRYSはカメラ目線ではなく目をそらして」

一見セクシー系の写真風にとるのか？と思ったが  
カメラマンは

カメラマン「次は笑顔で！今日一番の笑顔見せて！」

といういつもよりも増して  
笑顔になれた。

カメラマンに聞くと

笑顔増加タイプというらしい・・。  
セクシーな写真を始めに1枚とり  
そのあとに笑顔を引き出すと  
いつもよりもいい笑顔が  
撮れるのだという。

そして次は第一回目の雑誌撮影。  
MistEvery。

カメラマン「MistEveryは笑顔なしで目をそらして」  
言われたとおりにやると  
カメラマンの表情が

ググツと変わった。

カメラマン「君たち表情とか最高だな・・・」

蓮「マジですか??」

と思わずのリアクション。

カメラマン「Love Popとかさ、BERRYSとかよりもモデルっぽくていいね」

今までのアイドル組だと

本当にアイドルオーラが全開で

目線をそらしていても

笑顔になってしまったという

人がたくさんいたのだという。

だけどMist Everyは違う。

大人っぽさも出しながらも

一人ひとり違うオーラも出す。

優はメンバー1甘えん坊という

ことで甘いピンクっぽい

オーラ。

大翔はセンターもやっついていて

Jr歴が蓮たちと大体一緒だから

少しお兄さんオーラを出していたりと

ポーズによってはそう感じることもある。

わずか15分で撮影終了。

カメラマン「今度の撮影の時は笑顔全開でピンクの衣装だから。」

M i s t E v e r y 「はい！ありがとうございます。」

功「お疲れした〜」

侑大「お疲れ様でした〜！！」

柊太「お疲れ様です！」

共也「お疲れさまでした！」

帰るのかと思いきや

M i s t E v e r y のいる方へと

向かってきた。

侑大「どうだった？みんな」

蓮「緊張しました〜先輩の前で」

功「今度は別々だな。」

瑞生「そうですね・・・」

大翔「これからがんばるのでお願いします。」

歩「雑誌撮影って何回ぐらいでなれましたか？」

と歩、今回の撮影で初めて

まともに B E R R Y S としゃべった。

侑大「僕らもデビューしてまだ1ヶ月ちょっとだからね??」

功「雑誌ってさ1ヶ月に1冊じゃん。まだ2回か3回？しか撮影してないよ」

侑大「でもカメラマンさん面白いから楽しいしわくわくするよね〜」

共也「がんばれ、応援してるからな。」

歩「ありがとうございます。」

そして仕事が終わった次の日

社長に呼ばれ

代表で大翔がやってきた。

悪い話かと思ひ

ずっと不安を隠せずにいた。

社長「お前たちの初コンサートが決定した。」

大翔「・・・？！本当ですか？？」

社長「Jrたちをたつくさんつけてやるからな。」

大翔「ありがとうございます。」

社長「M i s t E v e r yは姿勢もいいし言葉もいいし面白い。」

大翔「はあ・・・」

社長「まあ期待しているよ」

その後

すぐに大翔は

メンバーにメールで

このことを伝えた。

5分も経たないうちに

全員返信してきた。

新しい魅力！M i s t E v e r y デビュー（後書き）

デビューの仕方は

大体一緒ですが

舞能社長のお気に入りメンバーが

いる場合、そのグループは

少し違ったことをさせられる

時があります！

## それぞれの道（前書き）

1年後の設定にして書きました。

NEWRANDOは結成1年半目

HoneyRANDOは1年目

KISSRANDOは8ヶ月目

MOONRANDOは6ヶ月目

BERRYYSは9ヶ月目

MISSK-A-Yは5ヶ月目

LovePopflowerは1年目

MistEveryは4ヶ月目

です

## それぞれの道

2011年に入り

1月の始め、芸能人に聞いた

所属してみたい、あこがれの事務所

というのをいつせいに調査したところ

1位がホームエンター事務所

2位が舞能事務所

3位がジュエリーエンターテイメント

だった。

なんと舞能事務所は2位。

今の舞能事務所の

所属芸能人で有名なのといえば

BOYSプロジェクト

Girlプロジェクト

Loveis4だ。

今年の4月には

Girlプロジェクトから

韓国グループもデビュー。

今は事務所の所属芸能人の

高齢化が問題になっているが

舞能事務所も

ホームエンター事務所も

ジュエリーエンターテイメントも

それに伴い

若い芸能人を40代以上芸能人に対し

10分の6以上は若い芸能人が

所属できている状態を保っている。

舞能事務所は10対8と少し多い人数。  
そんな人気の舞能事務所、  
今日はLove Pop Flowerの顔  
可愛沙羅の恋愛報道についての  
記者会見をひらく予定で  
事務所も大忙し。

本当のところはどうなのか

美亜「可愛さんは・・・モデルの志美莉さんと付き合っているのですか・・・？」

可愛「記者会見を開くってことはもう分かると思うけど・・・？」

美亜「本当なんですネ・・・」

可愛「僕は告白されたほうだし社長は分かってくれるよ・・・」

海「本当にいいのかそのままで」

羽瑠「結婚とかするの？」

可愛「モデルって忙しいでしょ？そんなに恋は続くかな？？」

Love is 4の海と美亜は

学校が同じため

今日はオフだというのに

可愛の記者会見前に  
やってきた。

海「本当のことと言って別れるファンも悲しむぞ。」

羽瑠「確かに・・・BOYSプロジェクト・・・アイドルだよ？」

美亜「応援させていたきたいですけど今回は出来ないです!」

海「社長には何も言っていないんだろ？今何言つか考えるのも遅くないぞ。」

可愛は悩んでいた。  
舞能事務所はモデルの  
職業タレントの所属は禁止。  
なのにアイドルがモデルと  
付き合うなんて  
応援しているファンにも  
申し訳ない。

可愛「志美莉ちゃんにはOKともNOとも言っていないから僕次第だ  
よね・・・」  
羽瑠「どうするの?」

と話していると  
NEW RANDOの朱莉と美羽が  
衣装のままやってきた。

朱莉「どうするの??可愛くん。」  
美羽「あと30分ですよ?」  
朱莉「あっ! Loveis4の皆さんこんにちは。」

美亜「朱莉さん、美羽さんこんにちは。」  
そして5分後  
決意は出た。

可愛「やっぱり別れる。やっぱりファンのためにもね・・・」  
結論は別れる。

可愛は恋人よりもファンをとった。

そして記者会見。

沢山の記者やカメラマンが訪れた。

影からはLoveis4と朱莉と美羽も見ている。

可愛「質問は受け付けませんが1つだけお話いたします。」  
と礼をしてからそういった。

可愛「僕は志美莉さんとは付き合っていません。前ドラマで共演させていただいて4ヶ月間ぐらい

ほぼ毎日撮影を一緒にしていました。恋人役を演じたので恋愛説は出るものだと言った社長から前に  
言われていました。」

可愛がそう言うと

記者の質問攻めに・・・。

さっきは質問に答えないと言っていたが時間が2分ぐらい残っていたので  
快く質問に答えた。

記者はその可愛の言葉を聞いたせいか  
恋愛についての質問には一切触れてなかった。

Love Pop Flowerの太陽さんとの不仲説について  
お答えくださいという質問には

可愛「仲はいいですよ、大学にも一緒に通っています。」

最後の質問で

今度デビューするグループがいたとしたら

どんな対応をしますか？

あと先輩としてこういうところを気をつけている

ようなことはありますでしょうか？

という質問には

可愛「デビューおめでとうとってがんばれと声をかけます。笑顔を気をつけています。」

それを答えた後

すぐに退場。

それを言い終えた可愛は  
すっきりとしていた。

美亜「記者会見の内容もよかったですね！」

羽瑠「堅苦しくなかったね」

朱莉「普通の質問だったね」

美羽「なんか緊張して損した感じですよ。」

海「まあそんなもんだろ。」

## 関係？

次の日

美亜は見た。

海が朱莉と一緒に歩いているのを

一応変装して歩いているものの  
オーラは隠せていないので

どこにいるかはすぐに分かる。

後ろをこっそりつけていると

二人は手を繋いでいた。

朱莉「どこ行く??」

海「あ?どこでもいい。」

朱莉「じゃあ映画館行こう?」

海「ああ。」

朱莉「恋愛系? コメディ系? LOVE系・・・あっ! ホラーとか  
?」

海「どれでもいいぜ? 別に何でも。」

朱莉「面白く行こうよ! コメディー見てさ。」

恐らくデートをしているのだろう

目をそらさないで歩いていると

通りがかりのおじさんに声をかけられた。

おじさん「美亜だ。サイン欲しいんだけど・・・だめかい?」

美亜「小さい声で すみません・・・。今出来ないんです。」

話しているうちに

2人の姿が見えなくなった。  
急いで走り、曲がり角など  
隅々まで探したが  
見つからなかった。

次の日

番組収録で

Love is 4の楽屋が  
用意された。

1人1人のときもあるが  
今日は4人全員で1部屋。  
無言状態は続く。

羽瑠「あーあーあーあー。」

圭斗「どうしたの?」

羽瑠「声出しの練習だよ?圭斗もやれば?」

圭斗「あーあーあーあー。」

海「……………」

美亜「……………」

羽瑠「今日の司会は海と美亜だからさ!頼むね?」

そう、今日の司会は

なんと海と美亜。

気まずい雰囲気だが

羽瑠がその空気を変えた。

羽瑠「まあ楽しい雰囲気出せばそれでいいんだよ!OK?」

美亜「あっはい!」

海「そろそろ1時だスタジオ中入るぞ。」

そういつてると  
スタッフさんが  
「そろそろスタジオ入ってください！」

カメラが回っていない時  
さりげなく聞いてみた。

美亜「昨日何してました??」  
海「あ?」

美亜「電話したのに出なかったの・・・」  
海「朱莉といたけど。」

美亜「実は・・・昨日見ちゃったんです。」  
海「!?!」  
美亜「デートしているところ・・・。」

本当のことを聞くと  
海は・・・

海「デートなわけねーだろ。」  
美亜「え?」

海「昨日は仕事でカメラ回ってたし。」  
美亜「カメラマンいなかったです!確かにいなかったです!」  
海「ごちゃごちゃしてる人の中に隠しカメラをつけた人がいたんだ。」

美亜「じゃあ・・・」  
海「残念だったな、推理はずれだな。」

昨日は  
Poweris4の収録。

Loveis4の男子メンバー1人と

NEW RANDOのメンバー1人。

合計2人の男女が人ごみの多いところで

一緒に歩いたらどうなるのか？

というコーナーの撮影だったのだ。

カメラが付いていると

すぐばれてしまうので

後ろや横に

地味な格好をしたスタッフの

首元に隠しカメラをつけて

歩かせていたのだ。

美亜「あんな変装なしで付き合ってるって思ったわたしが馬鹿でした。」

海「ふん。」

羽瑠「司会あっちだよ？」

美亜「はい！」

海「小さい声で 付き合ってるなんて馬鹿じゃん・・・。」

## プライベート

収録後

自宅に帰ろうとしている美亜は

サングラスをした

ロングヘアーの女性が立っていた。

美亜の顔をじーっと見ると

何かに気付いたのか

サングラスを取った。

そうすると

美亜「知里さん！！こんばんは！！！」

知里「美亜ちゃん！久しぶりだね〜」

美亜「お兄ちゃん元気にしてました？」

知里「明日にはここに着くと思うけど？」

美亜「え??？」

知里「有名な教授の代役日本に戻らないといけないらしいの」

美亜「忙しいんですね・・・お兄ちゃん。」

知里「22歳になった溜李くんカツコイイよ??？」

現在22歳の溜李。

一卵性の双子で産まれてきた美亜と溜李。

学生の時美亜はフランスに留学中だった。

美亜の住んでいた家に1通の手紙が届いたのだ。

美亜宛てではなく溜李宛ての手紙で

中を見てみると転校手続き書が入った手紙。

有効期限は今日まで

写真を貼り付けたりする覧もあつたのだ。

溜李はその時アメリカに留学中で

手紙を送って届くには最低3日はかかってしまう。  
そのために美亜は髪を切って  
兄の名で男子校に転校したのだ。

先生には高校2年生の時にばれてしまい  
おかげで成績はがた落ち・・・。  
ただ海や沙羅と出会ったから  
今の美亜がいる。

知里「やっぱり日本の空気もおいしいね ん〜」

美亜「今何のお仕事やってるんですか？」

知里「教授の手伝いとか瑠李くんの生活管理とか。」

美亜「マネージャーみたいなものですね？」

知里と美亜が知り合ったのは  
フランスの時。

元々は知里と瑠李は友達関係で

アメリカの高校の同級生だった。

たまたま大学の研修会の見学で

フランスに来ていたので

そのついでに知里と瑠李は

美亜の家に遊びに行ったのがきっかけ。

美亜「付き合っていないんですよね？知里さんはお兄ちゃんと。」

知里「わたしもう結婚してるよ？ほら指輪。」

美亜「誰とですか??」

知里「アメリカで同級生だった日本人。」

美亜「お兄ちゃんとはっぴかりいて嫉妬とかないんでしょうかね・・・。」

知里「遠距離恋愛だから大丈夫 博くん日本にいるから。」

美亜「名前は??」  
知里「博義くんだよ?」

なんと知里は結婚していた。  
なんだかんだ外で話していると  
雨が降ってきた。

なので美亜は家に呼んだ。

美亜「どうぞ〜楽しんで下さい 疲れてると思うので!」

知里「ありがとう。瑠李くんとは違うしっかりさがあるね美亜ちゃん。」

美亜「そうですか?もうちょっとしたら沙羅くんって人くるんです。」

知里「え?? Love Pop Flowerの??可愛沙羅くん?」

美亜がそうですと返事しようとすると

知里「Love Popのファンなの!!サインOKかな??」

美亜「いいと思いますよ?」

知里「うらやましいな〜芸能人と友達つてさ〜」

美亜「あと、NEW RANDOの朱莉さんと羽瑠さんも来ます。」

知里「わたしいたら邪魔かな?」

美亜「いいえ 大勢の方が楽しいですから!」

そう言いながら美亜はエプロンを着た。

実は美亜は料理好きで

早く帰ってくる日は外食はほとんどしない。

今日のメニューは

・カニとベーコンのカルボナーラ

・ウインナーとトマトのピザ

・レタスとキュウリと紫ニンジンのサラダ

この3つを1時間半で作るという  
プロ並みの腕前を持っているのだ。

そして1時間半後

料理が出来上がると同時に  
3人がやってきた

朱莉「おじゃまします〜」

羽瑠「お邪魔します!!」

沙羅「お邪魔します!!」

リビングに入ってくると

知里はテンションMAX!!  
バックからペンと小さい色紙を  
持って沙羅の目の前に行った。

知里「ファンなんです!!サインお願いします!!」

沙羅「喜んで、これからも応援お願いします。」

知里「わたし美亜ちゃんの兄の同級生の知里です。お邪魔してます。」  
「

羽瑠「Loveis4の羽瑠です。どうも」

朱莉「NEWRANDOの朱莉です。こんばんは。」

自己紹介が始まると

料理がテーブルに並べられた。

羽瑠「すごいね〜今日は」

朱莉「そうだね!!」

沙羅「こんなに食べられるかな？」

朱莉「今コンサート前でそんな食べられないよ〜」

美亜「多かつたら残してもいいよ 少ないより多いほうがいいですよ？」

全員お酒が飲めると言う事で

ワインとビールなどを飲みながらトークが始まった。

知里「みんなは憧れの人とかいるの??」

沙羅「僕、BOYSプロジェクトだと一番先輩なんですけど」

知里「そうなの？」

沙羅「BOYSプロジェクトじゃないですけどLoveis4かな？」

羽瑠&美亜「ありがとうございます!」

朱莉「わたしたちよりデビュー遅かったですけどKISSRAND Oですね〜。」

知里「理由なんかありますか??」

そう聞くと

1分間沈黙!

朱莉「やっぱり色気とかそろそろ欲しいですね〜」

羽瑠「僕はグループ内ですけど海くん。」

知里「それはどうして?」

羽瑠「やっぱり器用ですしカッコイイし歌うまいから〜。」

美亜「海さんはグループではクールなんですけど器用です〜いいんですよ。」

舞能社長が

Loveis4のデビュー前に行った。

「有名になりたかったらみんなに認められるようになれ」

みんなに認められれば

何をしてもきつと

成功に繋がるという意味を込めて

贈った言葉だという。

そのおかげで

今は舞能事務所の顔でもある。

1ヶ月のスケジュールは

毎日埋まっっていて

CDのリリースも安定している。

そして5時間ぐらい話しているうちに

時間も過ぎ夜の2時になった。

今日集まったメンバー全員

明日は夜からの仕事しかない。

ただどこで全員

帰ることになった。

知里「じゃあ、またね 瑠李くんにも伝えとくからね!」

沙羅&朱莉&羽瑠「ばいばい」

## プライベート（後書き）

n a n a s e m m m と検索するとこの小説の中の  
N E W R A N D O などがリリースしたCDの  
歌詞をご覧いただけます。

実際にCDは発売していません。

また、n a n a s e m m m と検索するほかに  
舞能事務所と検索しても  
できませんので

是非ご覧ください。

**Girlプロジェクト、BOYSプロジェクト、まとめた名前はSweetDevil**

次の日

新聞に大きく記事になった。

Girlプロジェクト、BOYSプロジェクト含めた名前はSweetDevil!!

今日は午後からの収録予定だったが

マネージャーに頼み

会社まで送って貰った朱莉。

朱莉「失礼します。」

社長「何だね、君の仕事は今日は午後からじゃないのか？」

朱莉「改名の件について詳しくご説明を。」

社長「この事務所にしてはダサイ名前だった。」

朱莉「はあ〜??？」

今まで散々いろんなグループをデビューさせてきた

社長の言う言葉ではない。

社長「今日からお前たちのプロジェクト名はSweetDevilだ。」

朱莉「Girlプロジェクトじゃなくなるんですか？」

社長「それはそのままだ。BOYSもGirlも含めたときの名前がSweetDevil。」

朱莉「今までなんていったらいいのか分からなかったですからね・・・」

社長「気に入ったか？」

朱莉「社長が名付けたならそれでいいと思います。」

この後  
舞能プロジェクト教育所に  
連れて行ってもらった。  
そうすると

Jrの子達がダンスの練習をしていた。

今は4月だけど

教育所の中は夏のように暑い。  
熱気がたまり

いつも薄着で練習できるようになっている。

朱莉「集まって〜〜!!!!!!」

今日は

BERRY SとMiss - K - A - Yの男子チームしか  
いなかった。

Kiss RAN DOなどは全国コンサートをやっている。

Moon RAN DOは番組収録で全員いない。

Honey RAN DOは雑誌の撮影で全員以内。

Love Popp lowerはロケでいない。

そしてNEW RAN DOは午後から仕事の為  
練習の予定は今日は無い。

なぜ朱莉が今日やってきたのかと  
ガヤガヤとざわついていた。

朱莉「もう知ってるかもしれないですがSweet Devilになり  
ました。」

一同「え・・・???」

朱莉「BOYSもGirlも含めてSweet Devilという名

前になりました。」

一同「そうなんですか??」

朱莉「仕事に問題は無いのでこれからもデビューに向けてがんばってください。」

実はこの日

ドラマがスタートした。

月日はさかのぼり2月。

各テレビのドラマの製作発表を行った。

月9はなんと

韓国と日本のハーフ。

そして彼氏役は可愛沙羅。

8月に舞能事務所に所属予定の

李 瑛愛

読み方は イ ヨンエ。

お父さんが名付け親で

お母さんは日本人で今は大阪にいる。  
なので時々大阪弁になるとか。

そして時は戻り現在。

時間は夜の9時。

プロジェクト教育所のテレビを  
みんなで見ていた。

物語は

韓国のモデル。

そのモデルは日本語ペラペラ。

日本のドラマを演じることになった

モデルは彼氏役の人が本当に好きになってしまう。

主役のモデル役はヨンエ。

そして彼氏役は沙羅。

演じる役名は

ヨンエ 〓 珠 愛賢 読み方は チュ エヒヨン

沙羅 〓 京谷 涼介 読み方は きょうや りょうすけ

小説の中のドラマ―?―宝石の輝く夏色の空 第一話(前書き)

今回の一話は

月9のドラマの中の

物語をご覧ください。

小説の中のドラマ!?! 宝石の輝く夏色の空 第一話

わたしがあの人と出会ったのは  
あるドラマの撮影・・・

恋愛系のドラマ。

日本のドラマ初の主演。

毎日が楽しくて

毎日があっという間で

忙しかったけど

あの出会った日の思い出は

今でも忘れられない

大切な宝石のような輝く思い出。

わたしの好きな言葉。

それは夏色。

日本に来て初めて

教えてもらった言葉。

わたしは勉強をして

今は日本語はペラペラ。

だけど恋のお話は

全く分からない。

話せないのです。

ドラマの設定でご覧ください。 第3話 あなたはどんな人？

エヒョン「・・・・・・・・・・・・・・・・」

涼介「君は・・・？」

エヒョン「あなたハ・・・どこか似ています。」

涼介「え……?」

この3話の内容は  
韓国で噂になっていた  
優しい美男子（涼介）  
を一目見ようと

日本にやってきたエヒョン。  
テレビ局の前を歩いていると  
声をかけられたエヒョンだが  
涼介と知らずに接している。

エヒョン「亡くなった兄にです。」

涼介「お兄さん……?君は……誰なんだ??」

エヒョン「名前を名乗る程の者じゃないです。」

涼介「ごめん俺から名乗るの忘れてた。」

エヒョン「え?」

涼介「京谷涼介24歳。彼女はいないです。よろしく。」

エヒョン「涼介……さんですか……?」

そこでわたしは気付いた。

兄にどこか似ている思ったのは

韓国で噂になっていた

美男子といわれる

涼介さん。

涼介「実はオーディションでドラマの主演取れたんだ。」

エヒョン「凄いです。どんな役ですか?」

涼介「君みたいな韓国の人の役の彼氏役。」

エヒョン「え……?」

涼介「まだ撮影してないんだ。すぐ撮影してすぐ編集してオンエア

するんだってさ。」

エヒョン「日本の技術は韓国も憧れています。」

涼介「そうかな？ありがとう。」

このセリフを話している場面は

草原のような緑ばつかりのところ

水族館が見える場所なのです。

涼介「今日は久しぶりに笑ったよ。」

エヒョン「涼介さんとドラマやれるかもしれないです・・・。」

涼介「・・・え？」

エヒョン「これ・・・。」

エヒョンが見せたのは

台本。

そして涼介も台本を出す

なんと同じ台本だった。

これで共演は確定した。

このドラマは元々お昼ドラマとして

放送していたが、今年リメイク版として

また新しく撮影する事になった。

主演も全員変えてのリメイク作。

今回はなんと月曜日の9時という

ドラマの中で一番いい時間帯。

そして全部の撮影が終わった後

涼介役の可愛沙羅が

ヨンエの所へやってきた。

沙羅「これからデビューして大変かもしれないけど先輩はいい人ば  
つかりだよ。」

ヨンエ「ありがとうございます。デビュー楽しみにしました。」

沙羅「Love is 4っていう先輩は面白くてカッコイイから！」

ヨンエ「Love is 4は韓国でも人気でした。」

沙羅「じゃあね」

ヨンエ「ありがとうございます。」

そして1週間後

イ・ヨンエ改め

瑛愛がデビュー。

韓国の名前だと

読みづらいため、社長が

瑛愛だけでいいといった。

舞能事務所の所属からのデビューだと

sweet Devilたちは

1 直接会って芸能活動の交渉

2 歌やダンスの特訓 約2ヶ月

3 テレビなどになれるためJrとして活動

4 どれだけ認知度あるかの確認などでデビューについて考える

5 デビューのお知らせを本人に伝える

6 デビュー会見などをやる

7 デビュー曲の披露やテレビ出演 約1ヶ月

8 CD発売

9 テレビ出演を改めて行う 約2週間

10 レギュラーを務めたりドラマ出演も出来るようになる

デビューまで

Jrはこの10か条を

がんばっていかないといけない。

Loveis4のデビューは少し変わっていたが  
sweetDevilはほとんどこの10か条を  
やり抜いて、がんばって努力してデビューをした。

なのでデビューしても面白さがない人はほとんどいない。

最近は芸能人の高齢化が問題となっているため

小さい子がいきなりグループでデビューする形もある。

MOONRANDOはなんと最年少の12歳のメンバーがいて  
最年長でもなんと、14歳というフレッシュなグループだ。

そしてヨンエはLoveis4のように  
単独デビュー。

sweetDevilに入る予定はない。

会見では

ヨンエ「これからはLoveis4さんのように、がんばりますの  
で応援してくださいです。」

取材「ドラマの見所はどこでしょうか？」

ヨンエ「わたしとは真逆の役でした。それで一生懸命元気がないよ  
うなオーラだしました。」

取材「ファンの人に一言お願いします。」

ヨンエ「これから、辛いことも、嬉しいことも分かり合えるような  
女優さんになりたいので

がんばります。ドラマ活動もいっぱいしたいですし、レギ  
ュラー番組にでたいです。」

なんとその日この会見は2時間に及ぶ生放送。  
気になるワードランキングで

ヨンエが1位になった。

次の日

憧れのLoveis4の番組に参戦したヨンエはLoveis4チームとして出演した。

今までデビューしてから1日で番組に出演できるのは2年前にデビューした男性の俳優以来初。

sweet Devilはラジオなどに出演はしたものの次の日に番組出演の以来が来ても受け入れなかった。

ヨンエの特徴というと

韓国と日本のハーフなのに対して

綺麗な茶髪のロングヘア。

目はくりくりの二重。

そしておでこをあげたときもキュート。

さすが19歳。

舞能事務所は2005年から

ハーフの芸能人が所属可能になった。

舞能事務所という借金髪がダメな規則も

あったりと少し規則が多い事務所と思うが

最近は規則はほとんどない。

ただ報道されて事務所が関わる事件があると

舞能事務所はとても厳しい。

そして次の日

小説の中のドラマ！？宝石の輝く夏色の空 第一話（後書き）

毎回毎回いろんな人がデビューしていますね。

舞能事務所ーエンターテイメントー

では、新しく所属した

Girlプロジェクトの仲間たちの名前を紹介中！

詳しくは 舞能事務所ーエンターテイメントー

で検索！！

美亜たちの仲のよさ(前書き)

時は早送りして

2011年の2月。

NEWRANDO

HoneyRANDO

KissRANDO

MOONRANDO

BERRYS

LovePopFlower

Miss-K-A-Y

Mist Every

Loveis4

が去年、一昨年に  
デビューしました。

そして今年の4月。

新たに2組デビュー!!

この1話は説明ばかりの1話ですが  
お楽しみください。

## 美亜たちの仲のよさ

NEW RANDOはデビュー歴2年2ヶ月

Honey RANDOは2年8ヶ月

Kiss RANDO、2年3ヶ月

MON RANDO、2年1ヶ月

BERRYS、1年

Love Pop Flower、1年2ヶ月

Miss-K-A-Y、8ヶ月

Mist Every、6ヶ月

Love is 43年。

いろんなグループが誕生してきた。

そして2011年になり

新たに同時2組デビュー予定。

その名は

Bey Ziy ベイジー

姫野 早緒 22歳 ひめの はおと

原島 春斗 20歳 はらしま はると

高谷 恵 18歳 こうや さとし

松井 勝太 16歳 まつい しょうた

G Rein ジーレイン

福原 羅生 16歳 ふくはら らう

新馬 永 15歳 しんば えい

向井 心太郎 13歳 むかい しんたろう

曾我 琉磨 13歳 そが るま

この2組は同じ日に同時デビューする形。

舞能事務所といえは3年前から

Girl、BOYS、Loveis4などの

若い、アイドル系の芸能人ばかり所属

するようになったが

今回のデビューの形は今までにない

新しい形だ。

舞能事務所で

デビューシングルが

初日ミリオンに達したのは

Miss-K-A-Yの

「Tomorrow's oneseif」

読み方は トウモロウズワンセルフ

MOONRANDOの

「Moon?Moon?Moon?」

読み方はムーンムーンムーン

そして今回はミリオンなるか?

Bey Ziy

「I will hold a dream」

読み方はアイウィルホールドアドリーム

今回はインターネットでも

好評で、何より歌詞がいいと評判だ。  
舞能事務所というところ

英語はほとんど使わない歌を

沢山生み出してきたが

Bey Ziyは英語の歌詞がある。

そして同じく

G Reinは

「Courage changes you」

読み方はクラージュチェンジュー

実はBey Ziyのメンバー

姫野は

Love is 4の美亜、海。

Love Pop Flowerの可愛と

同級生。

次の日

美亜「デビューおめでとございますー!!」

海「スカウトか。」

可愛「縁だね。」

姫野「そうだね・・・だけど凄い先輩じゃん。」

海「テレビのときはさん付けで呼べ。」

美亜「海さんは相変わらずツンデレですね。」

この日

事務所のカフェで

4人で話していた。

今日は4人で仕事。

雑誌の撮影&インタビュー。

「実は・・・同級生です」

というテーマで語り合ったり

コスプレを試してみたりと

ゆったりとした雰囲気撮影スタート

というのが予定。

その撮影開始4時間前から

4人一緒にいるとは本当に仲が良いのだ。

美亜「可愛さんはサルエルですか？」

可愛「スタイリストがこれがいい！って言ったから」

海「俺は普通の服だ。」

美亜「わたしはショートパンツです！」

姫野「俺は少し柄入ってるズボンだね。」

何故か衣装についてを真剣に語り始めた4人。

美亜「姫野さんは一般からデビューじゃないですからね・・・」

可愛「そっか〜芸能界卒業したんだもんね〜」

海「馬鹿なやつだ。」

そして撮影が始まり

わずか2時間で全部何もかも

終了し

帰る準備をしている4人たちだった。



**美亜たちの仲のよさ（後書き）**

この話に出てきた

歌の歌詞を知りたい方は

舞能事務所―エンターテイメント―と

検索してご覧ください！

侑大「わあ〜君もいいけど〜ん〜君もいいね〜」

これは決して合コンなどで

女性を選んでいるわけでない。

BERRYSは4人ではなく

5人グループに生まれ変わろうとしている。

そして4人がいろいろと決めた結果。

笹岡 奏揮 19歳が新メンバーに合格した。

彼は元芸能人の笹岡 しようせい の息子である。

父の血を受け継ぎ、歌手になることを決めた。

功「なんか、侑大に負けない可愛いさも持つてるしね」

共也「俺たちポップ系のグループだからピッタリだ！」

柊太「どうせまた、俺が一番老けてるって言われるんだ・・・」

侑大「これからヨロシクね！」

奏揮「よろしくおねがいします。」

その後

侑大「Loveis4以来、僕らメンバーがオーディションの審査するの初めてなんだよ??」

奏揮「そうなんですか??」

侑大「Loveis4の圭斗くんはオーディションで受かったんだ。」

「  
奏揮「確か・・・羽瑠先輩が2期生で、圭斗くんが3期生みたいなん

ですよね・・・。」

功「そう。Loveis4はあらゆる技術を持ったセンスがある人がメンバーなの。」

柊太「美亜ちゃんはキーボードにボーカルにトークセンスとか器用だし。」

侑大「・・・海くんは歌うまいし、ダンスもすごいし、ドラマとか数多く出演してるよ。」

柊太「羽瑠くんはトークセンスもあるししっかりしてるし、何より性格が100%良い！」

功「圭斗くんは歌、ダンス、楽器弾ける、カッコイイ、トークも天然で可愛い！」

奏揮「本当ですね・・・僕にはありませんかね・・・技術とか・・・」  
功「社長がいつて思ったから、今ここにいるんだよ。」

今現在、BERRY Sはsweet Devilの中では2位ぐらいの人気。

圧倒的にCDが売れているのが今現在。

デビュー当時からファンの数は増え続けている。

一番人気は侑大。そして同じくらいだが2位に柊太。

年上の2人はテレビ活動でもあまりしゃべらないため人気が上がらない原因はそこか？

奏揮がメンバーに入ってから

人気順は

1位 侑大

2位 柊太

3位 奏揮

4位 功

5位 共也

という感じだ。

侑大は可愛い童顔に

甘い歌声が特徴で、年代が若い

女性からの支持が多い。

舞能社長も気に入っているメンバーだ。

舞能社長が気に入るといのは

あくまで顔。

実力などはあまり気に入ってなくても

舞能社長が好きな顔というものが

あつたらそのメンバーが

どれだけ最近入所したメンバーでも

押されるのは変わらない。

功「そういえば・・・」

そういつて功がポケットから

出したのは一つのメモ用紙。

功「BERRY Sの侑大、功、柊太。別のユニットで再デビュー？  
??？」

侑大「えー？？何々？」

柊太「再デビューって何だ??」

功「知らないけど・・・デビューするらしいよ・・・。」

最近の舞能社長の行動は全く読めない。

いくらいろんなグループが

人気になっているのにも関わらず  
デビュー組を増やし続ける舞能事務所・・・。  
いったいどうするのか？

HAPPY7iのメンバー紹介！

城内 亮 13歳 黄色

矢島 竜 11歳 緑

福田 幸人 14歳 ピンク

桜田 侑大 20歳 水色

川村 柊太 19歳 紫

北野 功 21歳 赤

山岡 陸 15歳 オレンジ

## ドラマスタート!!

朱莉のマネージャーは今年に入ってからすぐに変わった。

テレビ関係の仕事だけど、少し上のランクになったため

マネージャーではなくビルの中でパソコンをやったりする仕事に映ったのだ。

現在のマネージャーは女の人で

年齢も26歳と大体同じ世代。

いつも恋愛しないですか？など恋愛関係の話に夢中の彼女。

彼女の名前は空 そら。

空「今日のスケジュールはこうなっています。ドラマ出演決まりました。こちら。」

朱莉「空の色ー全てを照らす日ー?????4月スタートのドラマ?」

空「わたしの名前が題名ですね」 林 郁莉 はやしかり 役です。」

朱莉「林 郁莉かあゝ妹役なんだ!!撮影いつ?」

空「今日は2月2日・マスコミにも知らせたので2週間後でしょうね。」

朱莉「そっか」

空の色ー全てを照らす日ー

このドラマは恋愛のドラマで病気で外にでれない19歳の彼女。

同じ病室の同じ年齢の男子を好きになるが、

彼は重い病気があって、アレルギーの為外には出れないという。

半年が経ち彼女は次第に病状はよくなり

外にでれるようになるが、彼は病気が悪くなり

経つことも難しくなるほどになってしまったのだ。  
2人の全ては照らされるのか？  
というお話、この話は火曜日の夜10時放送。

朱莉の役は彼の妹役で出ることになった。

明らかに実年齢は20代前半だが

監督は童顔がとても可愛いからよいと気に入ってたらしい。

朱莉「あとBOYSがGirlで他のドラマ出演する予定のある人  
っている？」

空「あつ！調べますね、今日中には分かるようにします。」

朱莉「お願いします。」

空「あつ！分かりました！この紙に詳しく書いてありますよ！どうぞ。」

今井勇太役 川島羽瑠主演

誰も知らない人ー出会った何もかもー

月曜9時スタートドラマ。

出村正人役 可愛沙羅主演

ミドリイロ

土曜9時スタートドラマ。

朱莉「結構居るじゃん！舞能事務所も負けてないじゃない？」

空「朱莉さん・・・性格最近変わりましたよね・・・大人っぽくなった  
っていうか？」

朱莉「そう？」

空「はい！」

朱莉「ごめんなさい・・・車でどこに行くの？スケジュール詳しくお

願い！」

空「現在は朝の4時です。8時になったらテレビスタジオに向かい番組収録です。」

そして8時過ぎになり

空「着きました。Bスタジオのある2階の楽屋に向っててください。

朱莉「空はどうするの？」

空「今行きますけど、他の出演者の到着待ってからと思ひまして・

朱莉「そんなのいいのよ・・・？」

空「分かりました！では行きましよう！」

建物に入り

空「こちら楽屋になります。」

朱莉「あ！可愛くんだ。」

空「今日は同じ収録ですねー！可愛くんってタイプですか？朱莉さん。」

朱莉「友達って感じだから、男として見た事は今までないけどな」  
空「わたし！わたし！聞いてください！！！」

朱莉「彼氏でも出来たの??」

空「BERRY Sの侑大くんの虜になっちゃいそうです！メツチャカツコイイじゃないですか？」

朱莉「ふ〜んがんばれ！」

空「侑大くんのマネージャーと幼馴染なのでそこ繋がりでがんばりますー！」

朱莉「がんばって！」

空「可愛くんも朱莉さん興味ないなら取っちゃいますよ?」

朱莉「どうぞどうぞ〜狙ってなんかこれぼっちもないですから。」

空はいつも恋が来るのを待っている乙女なのだ。

いつも出演者のデータは完璧で

タイプの人が居たら繋がりがあるかをすぐに調べるのが日課。

いつも女の子っぽい服装ばかり着ているので

年下目線で見られることが多いけど、朱莉の1歳上。

空「では、収録終わったら車でまた来ます!じゃあ」

朱莉「ちよつとどこいくの?」

空「今日のスケジュール忙しいんです だから行きますね!」

朱莉「ちなみに?」

空「雑誌の撮影です。3日以内には済ませたいと言う事なんで」

朱莉「4日前から朝4時起きて、夜は3時だよ?休ませてよ!」

空「明日は朝の8時から仕事で帰るのは11時なので大丈夫ですよ  
!!!」

最近リアルに忙しい。

どのグループも年初めということ

CDリリースや新番組撮影など

毎日寝る暇もないくらい忙しいのだ。

今日の朱莉と可愛などが出演する番組は

「明けましておめでとう???1ヶ月遅れの新春Poweris4ス  
ペシャル特大版!」

この番組はPoweris4の拡大番組で

生放送の2時間!

BOYSとBOYSjr、GirlとGirljr全員が出演のほか

Loveis4全員など豪華メンバーで2時間盛り上げる!!  
今日はリハーサルの仮収録。

仮収録とは生放送が出来なかった場合の為の収録のこと

朱莉「美亜っち!!おはよう!!」

美亜「朱莉さん・・・おはよう!!」

朱莉「眠い・・・」

羽瑠「そうだね・・・9時だからね」

こちらは仲のいいチームでおしゃべり中

可愛「侑大、衣装決まってるジャン!!」

侑大「そうだね・・・なんかキラキラしてますね」

功「本当だ踊るのかな?衣装着けてるけど」

柊太「めっちゃカッコイイ衣装だね」

可愛「僕なんかジャージだよ!!」

衣装についてを語り合っているBOYSたち

突然美亜が人ごみから避けたところに

朱莉を呼び出した。

美亜「可愛くんのこと知ってる?」

朱莉「知ってるって?」

美亜「朱莉ちゃんのこと想ってるって」

朱莉「知らない・・・どういこと???」

美亜「ご飯食べに行ったときに言ってたんだ。好きなんだよねって」

朱莉「・・・」

美亜「チャンスだよ?」

朱莉「実は少しは気になってたんだ。好きになれるようにがんばる  
!!」

そして収録は開始。

司会はLoveis4で

BOYS、Girlデビュー組は全員出演で

Jrには

この前に所属したばかりの新生Jrを出演させた。

後書きをご覧ください。

ここからは会話文たっぷりです。

羽瑠「明けましておめでとう??1ヶ月遅れの新春Poweris  
4スペシャル特大版!」

美亜「総合司会のLoveis4です。よろしくおねがいます。」

海「デビュー組は全員出演でお送りしています。」

圭斗「新生Jrまで出ちゃうので!張り切って行きましょう!!!」

一番最初のゲームは

人の多い渋谷に変装をしないで

ブラブラ歩いてもらう。

何分かって人だかりが出来るかを

生放送中にやっってもらう企画。

海「早速行きましょう!」

羽瑠「GirlチームからはNEWRANDOの朱莉!」

美亜「BOYSチームからはLovePOPの可愛くんです!」

これはアドリブでメンバーを決めているわけではない。

大まかな台本に可愛と朱莉の2人が挑戦すると

書いてあったのだ。

朱莉「えつと・・・」

美亜「普通の格好に着がえてもらい外に出てもらいます!!」

可愛「絶対に1分以内に気付いてもらわないと!!!!ね?」

朱莉「あっうん・・・そうだね!」

ドラマスタート!! (後書き)

本間	佐賀	熊川	櫻木	山田	拍矢	川崎	坂島	沢口	Jr
郁 <small>かおり</small>	星 <small>せい</small>	蒼理 <small>あおり</small>	莉子	李音 <small>りおん</small>	結史 <small>ゆうし</small>	祐也	守衣 <small>るい</small>	永遠 <small>とわ</small>	
14歳	11歳	16歳		17歳	13歳		16歳	14歳	
			14歳			18歳			

片思い・・・新春番組！！

そして着替えが終わり

美亜「2人の耳にはこちらの音が聞こえています。」

羽瑠「頭を触ってください！」

とつとちゃんと頭を触ったので

音が聞こえていると認知。

コーナースタートから30秒。

チラチラ見たり、キヤーとは言うものの

人だかりの様子は一向にないまま1分が経過。

朱莉「・・・」

一方可愛は人だかりの前を歩いたり止まったりと異常な動きを見せるものの気付かれてない。

美亜「皆さん！3分経ちました！残り2分です、気付かれるでしょうか？」

圭斗「でも2人は有名だからたぶん大丈夫ですよ。」

そんなことを話していると

4人ぐらいが朱莉に話しかけている。

「北岡朱莉さんですか??」

朱莉「あっはい！」

「キヤ~~~~~」

悲鳴を上げると15人ぐらいが朱莉を囲んだところで終了。  
時間は3分46秒と以外に時間がかかってしまった。

可愛はその1分後に

ファンの方に声をかけられ

人だかりが出来たところで可愛も終了。

時間は4分27秒。

そして2人がスタジオに入ってくると

朱莉「もうダメですよ・・・恥ずかしくて!!」

可愛「気付かれないものなんですね・・・」

可愛が朱莉を見つめる?見ると

朱莉は何故か目をそらしてしまった。

美亜「続いているコーナーは・・・CMの後!!」

いかにも生放送っぽく見せるようにCM  
が入る時は総合司会のLoveis4が  
ちゃんと伝えないといけないのだ。

CMまで撮ったので

一回カット。

そのとき朱莉が美亜にこう言った。

朱莉「このまま好きな気持ち受け取ってもいいの?」

美亜「うん!恋は来たら掴まないとだめなんだよ!」

朱莉「ずいぶんと恋について熱いじゃん。どうしたの?」

美亜「メンバー内の恋愛は今年に入ってから禁止にしたんだけど・・・」

「

朱莉「??？」

実は美亜はメンバーである羽瑠に片思いをしていたのだ。だけと思いは伝えられず年は明けてしまった。

そうすると1月1日にリーダーである海がこう話した。

今日からメンバー内の恋愛は禁止。

だけど片思いはOK

まるでAK 48みたいだ。

美亜「羽瑠くんがメンバーに入った時は何もおもってなかった。」

朱莉「どういうこと？」

美亜「去年の9月ぐらいから優しさに気付いていいなって思ったんだ。」

朱莉「へえ〜」

美亜「それから想い伝えたかったけど、こんな決まりにもなっちゃったし」

朱莉「メンバーにちゃんと伝えたら？この気持ち」

美亜「海さん・分かってくれるかな？」

朱莉「大丈夫!!」

お互いに恋が芽生えている時

その相手は??

海「はあ〜疲れた。」

羽瑠「大丈夫??」

可愛「そりゃあ一応4時間だもん」

海「それに家に帰っても誰もいないし」

羽瑠「ハハハ」

可愛「メンバー内の恋愛禁止なんじゃなかった？」

羽瑠「そうだった。忘れてた!!」

海「可愛はどうなのかよ。」

羽瑠「俺は知ってるよ、可愛のこと。」

海「??？」

可愛「僕、朱莉ちゃんが好きになったんだ・・・」

海「え?」

そんなことをいきなり言われて  
状況が掴めない海。

海「へえ・・・そうなん・・・だ・・・」

羽瑠「いいんじゃない?別に可愛のこと嫌ってなさそうだし」  
海「そうだ。チャンスあるかもしれないな。」

そして収録後半スタート。

メンバーも衣装を変えて、スタジオ入り。

こんかいはライブコーナーの収録ありなので  
歌を歌う時の衣装で2時間収録予定。

そして新しくスタートするドラマの宣伝も!

NEW RANDOはデビューから今までの曲を  
メドレーで届けるため

NEW RANDOらしく花がたくさんついた衣装。

Love is 4はロックに黒っぽくまとめ  
スーツなどの衣装で大人っぽくした。

他のグループもグループらしさがでる  
衣装だった。

体を張って挑戦ゲーム!

心理戦ゲーム

シャッフルグループ障害物競走

スペシャルライブ50分間！

収録は進みスペシャルライブ50分間のコーナー。

最初はGirlプロジェクトからで

NEW RANDOからスタート。

デビュー曲を始め、Jrが歌っていたりする曲  
事務所の先輩の曲など合わせて5曲を披露した。

そして収録が全て終わり

現在夜の9時。

その頃、舞能事務所の社長室では

社長「時ノ守り、BEAT UP!!」

秘書「この2つチームを1ヶ月ペースですね。」

社長「そうだな・久しぶりの期待グループだな。」

秘書「人気が出ることを楽しみにしています。」

なんと2組の新人グループ結成の最終段階。

詳しくは舞能事務所―エンターテイメント―で検索

時ノ守りは男子3人、女子1人のLove is 4の形でデビュー予  
定。

バンドグループではないが

時間をテーマにしたマイペースな曲を歌い上げる

今までにないセンスを持った4人のグループだ。

メンバーなど知りたい方も検索してください。

時ノ守リ、「まずは合宿所からスタートだ。」

滝本 冬真 たきもと とうま 20歳 メンバーカラー オレ  
ンジ

西山 唯 にしやま ゆい 20歳 ピンク

金井 流介 かない りゆうすけ 20歳 緑

本村 夜央 もとむら やお 20歳 水色

Loveis4以来の男女混合グループが誕生した。  
彼たちの名は

「時ノ守リ」読み方は ときのみもり

時間をテーマにした曲を自分たちで書き上げるとい  
変わったアーティスト。

4人は高校の同級生で現在は別の事務所に所属中だったが  
昨日、事務所を変えて、舞能事務所に所属した。

冬真「あこがれの舞能事務所に入れてよかった。」

流介「そうだね、Loveis4先輩もいるし。」

唯「何より、事務所も全部、過ごしやすいね。」

社長「Loveis4が来てくれたぞ。」

夜央「本当ですか??」

そうすると社長室に

Loveis4が入ってきた。

社長「実は内緒で呼んでたんだ。」

冬真「迫力が凄いです・・・」

唯「美亜さんもオシャレでかわいいです。」

Loveis4と時ノ守りは大体同じ年齢。

芸歴はLoveis4の方が上だけど

歌唱力はこちらの方ががあるとファンは言うのだ。

力強い声と高音も綺麗な歌声を持つ

冬真、そしてギターやピアノも前の事務所に所属中にやっていたバンドで楽器系を扱ってきた唯。

そして夜央は羽瑠と同じくしゃべりもうまい。

流介は歌詞を書いた入りする人担当で

いい歌詞を書いては、作曲もする天才家。

時ノ守りメンバーにはメンバー言葉というのがある。

これは前の事務所からあつた言葉である。

冬真「どこか違うオーラで人を包む温かさ

唯「心の明るさを信じて未来に突き進む妖精

流介「頭脳活かして人の心を掴むコンピューター

夜央「目の前を元気にする元気100パーセント

美亜「よろしくね？唯さん。」

唯「良きライバルとしてがんばります！」

羽瑠「憧れってテレビで話してくれてうれしいよ。」  
夜央「トーク力身に着けてがんばりますから！」

圭斗「ギターやってるんだって？よろしくね。」  
流介「はい！今度教えて欲しいです。」

海「リーダーは厳しく行かないと、この先上手くは行かないぞ。」  
冬真「はい。メンバーには厳しく、時に優しく、がんばります。」

何故か合ってから

2人1組ペアに分かれていた。

Love is 4もライバルとなつては  
気合を入れていないわけがない。

その後グループ分かれて・・

海「想像よりもカッコよかったな・・。」

美亜「女子にも人気が出ると思いました。 微笑みながら」

羽瑠「コラボ企画作ってみるのも面白いかもね」

圭斗「久しぶりのBOYSグループじゃないグループだね。」

最近の社長はなんか変だ。

妙に堅い性格になってしまったし

デビュー組が続々とデビューしすぎだし

人気のない間々で終わりそうな

グループメンバーもいるし・・・

若いグループを作りすぎて、年齢層が若い人向けばかり。

もう少し大人の女性、男性などにも人気が出る

グループを作って欲しいと思っている。

恋愛禁止のルールがどのグループにあるのかも  
分からないままで終わっているし・  
全てが途中で終わっているのだ。  
ちなみにLoveis4はメンバー内恋愛は禁止。

だけど・美亜は前回のお話と同様  
羽瑠に片思いをしているのだ。

羽瑠「そういえば明日、スペシャル歌謡祭じゃん・ね、美亜」  
美亜「あっはい！」

海「午後6時半からスタートだから、明日は歌謡祭以外は仕事ない  
な。」

圭斗「ギターの実習するために・合宿所に行く？久しぶりに・  
ということと4人は2年ぶりに合宿所を訪れると  
何故か靴が4足あった・  
中に入ってみると  
なんと、時ノ守りが居た。

冬真「どうしてLoveis4さんが？」

唯「あ！前、ここで過ごしてたからだよ」

美亜「もしかして・合宿するんですか？」

夜央「はい！Loveis4のようになれって社長に言われたんで」

羽瑠「海と毛糸はこの後仕事でしょ？本当は仕事あるんでしょ？」

圭斗「ううん・」

海「まあな。」

羽瑠「まだ片付いてないようだから、手伝おうかなって」

美亜「・・・」

羽瑠「美亜も一緒にやらない？掃除って心も綺麗にするんだよ」  
美亜「心も綺麗に・・・はい！やります！」

今なら告白できるチャンスだと思ったが  
時ノ守りがいる時に  
どこに呼び出していいかが、わからない美亜。

美亜「このコップとかどこにおくんですか？」  
唯「大体は美亜さんと羽瑠くんに任せます。」

そして意思を決めて  
羽瑠に話しかけようとする  
ピンポンと  
誰かがやってきた。

朱莉「初めまして NEW RANDOの朱莉です！..」  
唯「朱莉さん！！初めまして時ノ守りの唯です。どうも」

自己紹介が終わり  
どうしてここに来たのか  
美亜が朱莉に聞くと

朱莉「海に美亜は？って聞いたら羽瑠と一緒にって」  
美亜「もしかして・・・わたしのために？」  
朱莉「今なら告白できるでしょ？」  
美亜「でも待って！！なんていうか考えてない」  
朱莉「そんなの考えなくていいの」  
美亜「え？」  
朱莉「自分の気持ちストレートに伝えればいいの」

実は朱莉は美亜のために  
合宿所に訪れたのだ。

羽瑠と2人で手伝いに来てることを  
海から教えてもらいやつてきた。

そして2時間後

掃除や片付けも終わり

リビングでご飯を食べることに

唯「カルボナーラと紫キャベツときゅうりのサラダと野菜入りコン  
ソメスープです。」

美亜「デザートはストロベリーのヨーグルトかキャラメルプリンで  
す。」

羽瑠「ずいぶんと作ったんだね、オシャレじゃん。」

冬真「遊びに来てください これからも」

流介「たぶん・・・公式なデビューはまだないんで」

唯「デビューしたら・・・ここで過ごせなくなると思いますがけど・・・」

夜央「それまでは、僕たち、ずっと居ると思うんで」

冬真「ヨロシクお願いします。」

そして美亜がトイレに行こうとしていたとき

朱莉も一緒についてきた。

朱莉「次は告白だよ??」

美亜「えー?」

朱莉「ここまで来たんだから」

美亜「どうしよう」

そして10分後・・・

帰る準備を済ませて  
外に出た羽瑠と美亜。

羽瑠「海たち……そろそろ来るんだけどな」

美亜「……………」

羽瑠「美亜？」

美亜「羽瑠さん……好きです!!」

時ノ守リ、「まずは合宿所からスタートだ。」(後書き)

d.hatenane.jp/nanaseम्म /

こちらコピー検索してください。

歌詞などが見れるページです。

ただいま時ノ守リのデビュー曲の歌詞  
更新しました。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3732y/>

---

舞能事務所－エンターテインメント－

2011年12月11日13時53分発行